

平成 28 年度 小平市公共施設マネジメント市民会議ニュース オープンハウス 特集号

VOL.3 平成 28 年 9 月 24 日

小平市公共施設マネジメント オープンハウス

- 日時：平成 28 年 9 月 23 日(金曜) 午後 1 時～午後 8 時
平成 28 年 9 月 24 日(土曜) 午前 10 時～午後 5 時
- 場所：中央公民館 学習室 4
- 概要：① 常設展示
② ライブペイント (9月23日午後4時30分～午後6時)
③ 第4回公共施設マネジメント市民会議(9月24日午後2時～午後4時)



市では、将来の人口減少や施設の老朽化など、公共施設を取りまく環境の変化が見込まれることから、公共施設マネジメントを推進しています。

より多くの市民の方々が、公共施設マネジメントについて考えるきっかけになるよう、これまでの市の取組みを展示し、来場者と個別に対話するオープンハウスを開催しました。また、あわせて市民が参加して公共施設での出来事を自由な発想で楽しみながら絵を完成させるライブペイントや、公共施設マネジメント市民会議を開催しました。



①常設展示



小平市公共施設白書、小平市公共施設マネジメント基本方針、(仮称)公共施設適正配置実施計画に関する内容などをパネル展示し、また、公共施設マネジメントに関する発行物や市民会議に関する展示も行いました。



会場の様子



パネル展示の様子

アンケートについて

1 シールによるアンケート

オープンハウスに参加された方々に、パネル展示などを見終えた後に、「**公共施設マネジメントの推進について関心が高まりましたか。**」というシールアンケートをお願いしたところ、35名の方々が回答し、全員が「はい」にお答えいただきました。



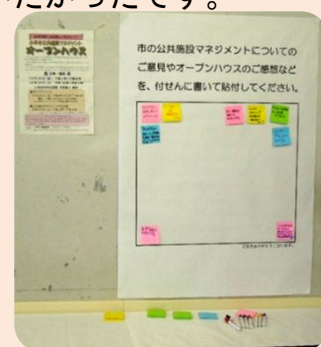
シールアンケート

2 付せんによるアンケート

公共施設マネジメントに対する意見や、オープンハウスに対する感想を、付せんに自由に記載していただき、壁に備えけた模造紙に貼って頂きました。

付せんに書かれた意見や感想

- ・「学区域」を見ると、小・中学校を軸に集約すればいいんじゃないかと思った。
- ・とても分かりやすく、かいつまんで説明していただいてありがたかったです。
本日は、長時間ありがとうございました。
- ・マンガでマネジメント！年齢問わず今後も続けて下さい！
- ・入りやすく展示してありますね。家族でもOK
- ・ていねいな説明 よく納得できました。
- ・わかりやすい説明と展示でよかったです。
- ・またマンガを描いてみたいです。
- ・マンガが面白かったです。
- ・絵がおもしろかったです。



付せんアンケート



②ライブペイント



オープンハウスにあわせて、ライブペイントを行いました。

ライブペイントとは、あらかじめ描かれた公共施設のデッサンの周りに、公共施設での出来事を自由な発想で描いて絵を完成させるイベントです。

ライブペイントでは、5月から6月にかけて開催した公共施設マネジメントマンガ教室の講師である戸城イチロさんに講師をしていただきました。

また、ライブペイントを始める前に、戸城イチロさんから公共施設マネジメントマンガ作品集の作品の講評をしていただき、参加者も熱心に聞いていました。



ライブペイントの様子



完成した作品はオープンハウスにて展示



参加された方みんな
楽しみながら
絵を描きました！



③市民会議



オープンハウスにあわせて、市民会議を開催しました。

今回の市民会議は、平成28年度に策定する(仮称)公共施設適正配置実施計画及び(仮称)公共施設等総合管理計画の方向性について市から説明を行いました。その後、「公共施設マネジメントを推進する上で大切なこと」をテーマに、ワークショップを行いました。



パワーポイントを使った市からの説明



説明を聞く参加者の様子

市からの説明に対する主な意見・質問

- ・市は公共施設マネジメントを推進する理由や背景について、複数の想定を示すべきではないか。
- ・小平市として「まち」をどうしていくのが重要であり、公共施設マネジメントが他の計画体系の中でどのような位置づけなのか。
- ・大きな道路はコミュニティを分断することもあり、公共施設の適正配置を行う上で考慮すべきではないか。
- ・大規模な開発によって「まちの魅力」を高めるのではなく、小平の良さである緑を前面に出すことにより、まちの価値を高め、人口の増加につなげる考え方もある。

ワークショップで出た主な意見 テーマ「公共施設マネジメントを推進する上で大切なこと」

- ・自然と親しめる公共施設を整備する。
- ・全体のまちづくりを考えながら公共施設マネジメントを推進する。
- ・みんなが参加して話し合いができる場をつくる。
- ・様々な課や市民がもっと参加できるように、もっと開かれたワークショップを開催してはどうか。
- ・行政の縦割りを超え、関係する機関が連携する。
- ・官民連携について、官と民のそれぞれの優れているところを活かした連携を図る。



ワークショップの発表の様子



【お問合せ】

小平市 企画政策部 行政経営課

〒187-8701 小平市小川町2-1333

TEL042-346-9756 FAX042-346-9513

メールアドレス gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp